

昭和 29 年 3 月 15 日

術語・表記合同部会

外来語の表記について

国語審議会

国語審議会は、外来語について、その書き表わし方が様々になっている現状にかんがみ、その基準を定める必要を認めて、術語・表記合同部会で審議してきた。昭和 29 年 3 月第 20 回総会で別紙のとおり部会における審議の結果が報告された。

については、この趣意がひろく社会に普及し、一般に実行されることが望ましい。

表記部会長報告

（術語・表記部会審議経過）

表記部会は、昭和 27 年 7 月成立し、まず外来語表記の原則を審議することを決めたが、たまたま学術用語分科審議会から国語審議会に対し、学術用語の表記法に関する質問があったので、同年 10 月から 12 月まで、術語部会と合同してこれを審議し、12 月 18 日成案を国語審議会の総会に提出、決定を見た。そのうち、外来語の表記に関する事項は次のとおりである。

- 1 外来語をかながきにする場合、さしつかえないかぎり、「ファ」「フィ」

「フェ」「フォ」・「ヴァ」「ヴィ」「ヴ」「ヴェ」「ヴォ」の代りに、「ハ」「ヒ」「ヘ」「ホ」・「バ」「ビ」「ブ」「ベ」「ボ」と書く。

- 2 外来語をかながきにする場合、さしつかえないかぎり、「ティ」「ディ」の代りに、「チ」「ジ」と書く。
- 3 外来語および外国語の地名・人名をかながきにする場合、原語のつづりにおける i a の a は原則として「ア」と書く。
- 4 原語のつづりの終りの e r , o r , a r などかながきにする場合には、長音記号「ー」を用いる。ただし、省く慣用のあるものや、これから造る術語では必ずしもつけなくてもよい。
- 5 外来語および外国の地名・人名の表記の一般方針については、今後なお審議する予定である。

表記部会は引き続き術語部会と合同で、外来語表記の一般方針を審議した。審議の経過においては、外来語を表記するのに、原語の発音に即した表記を採るべきか、あるいは、国語に外国語を取り入れた際に起る国語化した発音をもとにした平易な表記を採るべきか、の根本態度について、しばしば論議がくり返された。

原語の発音に即すべきものとする説の論拠は、

「ことばはその内容を的確に理解し、また、これをもって社会にその用を便ずるために教育されるべきであり、外来語に関しても、外国語の教育と関連をもたせた教育が必要である。しかるに、明治以来漢字音をかなで教育してきたため、日本語の音韻は少なくされており、外来語の発音としては、くずれた発音が国民の間に行われている。いま、外来語を原語の発音に近づけるということは、日本人の発音として努力することができる最大限をつくることになる。」というところにある。

これに対して、

「原語にも、英語・ドイツ語・フランス語などいろいろあって、その字に対する発音がそれぞれ異なっているから、それらに忠実に外来語を書き表わすということは不可能である。したがって原語の発音に即した表記を採って

も、原語でもなく、また日本語でもないものを新しく日本語に加えることになるだけである。また、国語の厳密な発音指導が行われていない現在、原語の音に基く教育を義務教育課程にまで施すことは、理想論というべきである。国語政策は、国民のすべてが協力することができるものを決めるべきであり、その見地から、ことばにおける慣用、その国民的傾向は尊重されなければならない。」という意見が多数であった。なお、

「これからの国語を考えると、ある種の外来語音を、しだいに国語に取り入れる用意をしておいてもよいのではないか。」という意見も出た。

けっきょく、多数意見に基いて、

- (1) その表記が、国民一般に行われやすいことをたてまえとする。
- (2) その表記の社会における慣用の、濃い薄いを合わせ考える。
- (3) 表記が二様にわたり、まだ固定しない語が多いため、それらの語について一々について審議する。

という方針で、新聞・辞書・放送関係等、各方面の資料から、社会一般に通用している度合いの高いと思われる語を選び、具体的に審議を進め、19項にわたる原則を得た。

しかし、外来語は、その伝来の経路が多様であり、また、その歴史も語によって異なるので、その書き表わし方の原則は、これらに対処することができるよう、配慮されなければならない。したがって表記が二様にわたる語については、原語の発音としてわれわれが聞き取る音を基準とし、これが国語音に近づいて平易になったものを採ることを原則としたが、慣用の固定したもの、または、原音の発音に近く書く慣用の久しく行われているものは、これに従った。多くの原則に例外があるのは、このためである。なお、一々の語の書き表わし方に、この原則をどの程度に適応するかについては、別に、表記上迷いやすい語について「外来語用例集」を設けて、そこに具体的に示すことにした。

部会の審議経過は以上のようなものであるが、この原案についてじゅうぶん御審議願いたい。また総会の承認を得た場合は、これが社会一般に普及す

るよう、必要な処置をとられることを文部大臣に建議することについても、あわせてお話し合い願えれば幸である。

外来語の表記

編者注：ここに収録したものは「外来語の表記－資料編－（国語シリーズ 27）昭 30.3.刊」による。本文中にある「注記」は、シリーズをまとめる際、国語審議会議事録から、その要領をとって書き加えられたものである。他の資料によってできるだけ誤植を正した。

まえがき

ここにいう外来語とは、主として欧米語から国語に取り入れられたことばをさす。

外来語の中には、次の三つの種類がある。

- (1) その使われ始めた歴史が古く、国語に融合しきっていて、国民一般がこれを外来語とは感じないもの、たとえば、たばこ・かっぱ・きせるなど。
- (2) 外国語という感じをなお多分にとどめているもの、たとえば、オーソリティー・フィアンセ など。
- (3) すでに国語として熟しているが、なお外来語という感じは残っているもの、たとえば、オーバー・ラジオ など。

従来行われている外来語の書き表わし方は、この3種の別に応じて違いがあり、(1)の類は、その書き表わし方に一定の慣用ができており、(2)の類は、なお原語のつづり、または発音に近い書き表わし方を採っている。これに反し、(3)の類は、原語のつづり、または音から離れて、その一部を国語化して書き表わすものが多い。さらに(2)の類に関しては、それを外国語として認めるか、またはすでに外来語として国語の中に取り入れられ

たと認めてよいか、その判定に苦しむものが多い。

このように、外来語は、その範囲の認定の点からも、また、その書き表わし方の上からも、種々の問題を含み、今ただちにこれを整理統一することは必ずしも容易ではないが、上に述べた外来語の3種の別に応じられるよう、

(イ) 国語化した書き表わし方の慣用が固定しているものは、これを採用。

(ロ) その書き表わし方の慣用が固定せず、二様にわたるものについては、
原語の発音としてわれわれが聞き取る音を基礎とし、国民一般に行われやすいことを眼目として、なるべく平易なほうを採用。

を方針とし、原則19項を定め、かつ「外来語用例集」を付けた。原則19項は外来語をかなで書き表わす場合の大綱を示し、「外来語用例集」は、その書き表わし方の迷いやすいものについて、その実際を示したものである。

なお、外国の地名・人名の書き方については、別に考慮することにした。

外来語表記の原則

1 外来語は、原則としてかたかなで書き、別表「外来語を書くときに用いるかなと符号の表」の範囲内で書く。

2 慣用の固定しているものは、これに従う。

ケーキ (cake)

リュックサック (Rucksack)

3 はねる音は「ン」と書く。

テンポ (tempo) トランク (trunk)

4 つまる音は小さく「ツ」を書き添えて示す。

コップ (kop) カット (cut)

5 従来、原語のつづりに引かれて、「ン」(はねる音)「ツ」(つまる音)を添えて書き表わしたものは、「ン」「ツ」を使わない。

コミュニケ (コン[×]ミュニケ) (communiqué)

コピー (コッ[×]ピー) (copy)

アコーディオン (アッ[×]コーディオン) (accordion)

アクセサリー (アクセッ[×]サリー) (accessary)

キス (キッ[×]ス) (kiss)

[例外] シャッター (shutter) バッター (batter)

 バッテリー (battery) カutting (cutting)

6 よう音は、小さく「ヤ」「ユ」「ヨ」を書き添えて示す。

ジャズ (jazz) シュークリーム (chou à la crème)

チョーク (chalk)

7 長音を示すには、長音符号「ー」を添えて示し、母音字を重ねたり、「ウ」を用いたりしない。

ボール (ball) オートバイ (auto-bicycle)

なお、原語における二重母音の「エイ」「オウ」は長音とみなす。

ショー (show) メーデー (May Day)

[例外] エイト (eight) ペイント (paint)

8 イ列・エ列の音の次の「ア」の音は、「ヤ」と書かずに「ア」と書く。

ピアノ (piano) ヘアピン (hair-pin)

[例外] ダイヤ (diamond, diagram)

 タイヤ (tire, tyre) ベニヤ (板) (vencer)

 ワイヤ (wire)

9 原音における「トゥ」「ドゥ」の音は、「ト」「ド」と書く。

ゼントルマン (gentleman)

ブレイントラスト (brain trust)

ドライブ (drive) ドラマ (drama)

[例外] ツーピース (two piece) ツリー (tree)

 ズック (doek) ズロース (drawers)

10 原音における「ファ」「フィ」「フェ」「フォ」・「ヴァ」「ヴィ」「ヴ」「ヴェ」「ヴォ」の音は、なるべく「ハ」「ヒ」「ヘ」「ホ」・「バ」「ビ」「ブ」「ベ」

「ボ」と書く。

プラットフォーム (platform)

ホルマリン (Formalin) バイオリン (violin)

ビタミン (Vitamin) ベランダ (veranda)

ただし、原音の意識がなお残っているものは、「ファ」「フィ」「フェ」「フォ」・「ヴァ」「ヴィ」「ヴ」「ヴェ」「ヴォ」と書いてもよい。

ファインプレー (fine-play)

フェミニスト (feminist) ヴェール (veil)

ヴォキャブラリー (vocabulary)

(注記) 国語審議会総会において、この条項について、たとえば「フェルト」か「フェルト」か、「フィルム」か「ファイルム」かをめぐって、(1) 外来語の発音の事実をどう認めるか、(2) その事実をどうかなで書き表わすか、(3) その発音なり表記なりを決定するとき現実どおりにするか将来を考えるか、(4) その考えにも簡易化のほうに向かって考えるか、日本語の音を豊富にするほうに向かって考えるかについて論議された。

11 原音における「ティ」「ディ」の音は、なるべく「チ」「ジ」と書く。

チーム (team) チンキ (tinc [tuur])

ラジオ (radio) ジレンマ (dilemma)

ただし、原音の意識がなお残っているものには、「ティ」「ディ」と書いてもよい。

ティー (tea) ビルディング (building)

12 原音における「シェ」「ジェ」の音は、なるべく「セ」「ゼ」と書く。

セパード (shepherd) ミルクセーキ (milk-shake)

ゼスチュア (gesture) ゼリー (jelly)

ただし、原音の意識がなお残っているものは、「シェ」「ジェ」と書いてもよい。

シェード (shade)

ジェットエンジン (jet engine)

ページェント (pageant)

(注記) 国語審議会総会において原音における「シェ」「ジェ」の音を、なるべく「セ」「ゼ」と書くことについて論議があった。「シェ」「ジェ」は日本人に可能な音であるので、むしろ「シェ」「ジェ」と書くほうを本体とすべきでないかというのである。

- 13 原音における「ウィ」「ウェ」「ウオ」の音は、なるべく「ウイ」「ウエ」「ウオ」と書く。

ウイスキー (whisky) ウェーブ (wave)

ストップウォッチ (stop-watch)

ただし、「ウ」を落す慣用のあるものは、これに従う。

サンドイッチ (sandwich) スイッチ (switch)

(注記) 国語審議会総会において、原音における「ウィ」「ウェ」「ウオ」の音をなるべく「ウイ」「ウエ」「ウオ」と書くことについて、(1) 原音をいかに取り入れるか、「ウィ」「ウェ」「ウオ」でとり入れていいのではないか、(2) 「ウイ」「ウエ」「ウオ」と書き表わすときには、「ウ」と「イ」「エ」「オ」との発音をどうするかという点が論議された。

- 14 原音における「クァ」「クィ」「クェ」「クォ」の音は、なるべく「カ」「クイ」「クエ」「コ」と書く。

レモンスカッシ (lemon-squash) クイズ (quiz)

スクエア (square) イコール (equal)

ただし、原音の意識がなお残っているものは、「クァ」「クィ」「クェ」「クォ」と書いてもよい。

スリークォーター (three quarter)

クォーターリー (quarterly)

- 15 Xを「クサ」「クシ」「クス」「クソ」と発音する場合は、「キサ」「キシ」「キス」「キソ」と書かないで、なるべく「クサ」「クシ」「クス」「クソ」

と書く。

タクシー (taxi) ボクシング (boxing)

[例外] エキストラ (エク^xストラ) (extra)

 エクス (エ^xクス) (extract)

 テキスト (テ^xグスト) (text)

 タキシード (tuxede)

- 16 原語 (特に英語) のつづりの終りの - er, - or, - ar, など をかながきにする場合には、長音符号「ー」を用いる。

ライター (lighter) エレベーター (elevator)

ただし、これを省く慣用のあるものは必ずしもつけなくてもよい。

ハンマ (hammer) スリッパ (slipper)

ドア (door)

- 17 語末 (特に元素名等) の - um は「ウム」と書く。

アルミニウム (aluminium) ラジウム (radium)

[例外] アルバム (album) スタジアム (stadium)

- 18 原音における「テュ」「デュ」の音は「チュ」「ジュ」と書く。

 スチュワードス (ステ^xュワデス) (stewardess)

 チューブ (テ^xューブ) (tube)

 ジュース (deuce) (スポーツ)

 ジュラルミン (デ^xュラルミン) (duralumin)

[例外] プロデューサー (producer)

- 19 原音における「フュ」「ヴュ」の音は、「ヒュ」「ビュ」と書く。

 ヒューズ (フ^xューズ) (fuse)

 レビュー (レ^xヴュー) (revue)

 インタビュー (イン^xタヴュー) (interview)

[注] 外来語を書き表わす場合には、「キ」「エ」「ヲ」「ヅ」「ヂ」は使わない。

(注記) 国語審議会総会において論議されたように、原語で二つ以上のこ

とばがいっしょになったもののつなぎの符号については、ここでは決めていない。この符号には、従来、「オール・ウェーブ」のように「・」（なかつん）を付したり、また「オールーウェーブ」、「オール＝ウェーブ」のようにハイフンを用いたり、種々の方法がとられている。この決定は、いろいろな場合を考えなければならないので、留保した。たとえば、なかつんについては、「東京・京都」のように、同じ種類のことばをいくつか並べる場合に用いており、これとまぎらわしい場合がある。

外来語を書くときに用いるかなと符号の表

[注] () 印は一般の外来語にはあまり使われない。

ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ		ユ		ヨ
ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ				
ン				
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
ダ			デ	ド
バ	ビ	ブ	ベ	ボ
パ	ピ	プ	ペ	ポ
キャ		キュ		(キョ)

シヤ		シュ		シヨ
チャ		チュ		チョ
(ニヤ)		ニユ		(ニヨ)
(ヒヤ)		ヒユ		(ヒヨ)
(ミヤ)		ミユ		(ミヨ)
(リヤ)		リュ		(リヨ)
ギヤ		ギユ		(ギヨ)
ジャ		ジュ		ジョ
ビヤ		ビユ		ビヨ
ピヤ		ピユ		ピヨ
	ウイ		ウエ	ウオ
クア			シエ	
			チェ	
(ツア)			(ツエ)	(ツオ)
	テイ			
ファ	フィ		フェ	フォ
グア			ジェ	
	デイ	デュ		
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
ン (はねる音)				
ツ (つまる音)				
ー (長音符)				

(注記) 国語審議会総会で、この表が発音を明示していないことが論議された。

外 来 語 用 例 集

- [注意] 1 ここには、書き表わし方の迷いやすい例をあげるにとどめた。
 2 ここには、外来語として一般に普及するまでになっていないものもあるが、便宜あげておいた。
 3 数字は、原則の番号を示す（主要な箇所のみ）。
 4 △印は専門用語（使用される分野の狭いもの）を示す。

- (注記) 1 国語審議会委員小林英夫氏の厚意によって、原語の出所のだいたいを示した。Eは英語、Dはドイツ語、Fはフランス語、Nはオランダ語、Rはロシア語、Iはイタリア語の略語である。>によって、その出所間の由来を示した。F>Eは、国語には英語からきたが、その英語はフランス語に由来することを示す。
 2 国語審議会総会において論議されたように、この表では、原語で二つ以上のことばがいっしょになったもののつながりは明らかにしていない。

編者注：国語審議会の報告には原語の出所は示されていない。

用語		備考
【ア】		
アーケード	(arcade E)	7
△アーティスト	(artist E)	11
アイシャドー	(eye-shadow E)	7
		アイシャドウ [×] と書かない。
アイスクャンデー	(ice-candy E)	2
△アヴァンギャルド	(avant-garde F)	10
△アヴァンゲール	(avant-guerre F)	10
アカデミー	(academy E)	7
		アカデミイ [×] と書かない。
アクセサリー	(accessary E)	5
△アクチブ	(aktiv R)	11・10
アコーディオン	(accordion E)	5・11
△アストリンゼント	(astringent E)	12
アスファルト	(asphalt E)	10
△アチーブ (メントテスト)		10
		ロシア語

	(achieve [ment test] E)		
アットホーム	(at home E)	4	
アップリケ	(appliqué F)	4	
アナウンサー	(announcer E)	16	
アベック	(avec F)	10	
アルファベット	(alphabet E)	10	
アルミニウム	(Aluminium D)	17	
アンケート	(enquête F)	17	
【イ】			
△イコール	(equal E)	14	
△イディオム	(idiom E)	11	
イニシアチブ	(initiative E)	8・11・10	
イニシアル	(initial E)	8	
イブニングドレス	(evening dress E)	10	
イヤホーン	(earphone E)	8 例外・10	
イリジウム	(Iridium D)	17	
インタビュー	(interview E)	19	
インテリゲンチア	(intelligenza R)	8	
△インファイト	(inflight E)	10	
インフレーション	(inflation E)	7	
【ウ】			
ヴァージン	(virgin E)	10	
△ヴァルール	(valeur F)	10	
ウィークエンド	(week-end E)	13・7	
ウィークデー	(week-day E)	13・7	
ウィークポイント	(weak point E)	13	
ウイスキー	(whisky E)	13	ウキスキーと書かない。
ウイット	(wit E)	13	
△ウイニング (ショット)	(winning [shot] E)	13	
ウインク	(wink E)	13	
ウィンタースポーツ	(winter-sports E)	13・16	
ウインチ	(winch E)	13	
ウインドー	(window E)	13・17	ウインドウと書かない。

△ウエート	(weight E)	13・7	
ウエーブ	(wave E)	13・7・10	
ヴェール	(veil E)	10・7	
ウエスト	(waist E)	13	
△ウエスト (ボール)	(waste [ball] E)	13	
ウエハー (ス)	(wafer [s] E)	13・10	
△ウエルター	(welter E)	13・16	
ウオーターシュート	(water-shoot E)	13・16	
△ウォーミングアップ	(warming up E)	13	
△ヴォキャブラリー	(vocabulary E)	10	
ウオツカ	(vodka R)	13・9 例外	ウオツカ [×] と書かない。
ウラニウム	(Uranium D)	17	
【エ】			
△エアブレーキ	(air-brake E)	8・2	
△エイト	(eight E)	7 例外	
エイプリルフール	(April fool E)	7	
エキス	(extract N)	15 例外	
エキス (線)	(X-rays E)	5	
エキストラ	(extra E)	15 例外	
エキスパート	(expert E)	15 例外	
エキゾチック	(exotic E)	15・11 例外	
エスカレーター	(escalator E)	7・16	
エチケット	(etiquette E)	11	
△エチュード	(étude F)	18	
エネルギー	(Energie D)	7	
エレベーター	(elevator E)	10・7・16	
エロチック	(erotic E)	11	
エンゼル	(angel E)	12	
【オ】			
オーソリティー	(authority E)	11	
オーバー	(over coat E)	10	
△オールウェーブ	(all-wave E)	13・7・10	
△オクターブ	(Ok tav _[オクター] D)	2	
オフィス	(office E)	10	
オブザーバー	(observer E)	10・16	

オリーブ	(olive E)	10	
オレンジ	(orange E)	注	オレンジと書かない。
【カ】			
カーディガン	(cardigan E)	11	
カーニバル	(carnival E)	10	
カーブ	(curve E)	10	
カクテル	(cocktail E)	[ママ]	コクテルと書かない。
△カッティング	(cutting E)	5 例外・11	
カバー	(cover E)	10・16	
カフェー	(café F > E)	10	
カルシウム	(Calcium D)	17	
カンバス	(canvas E)	10	
【キ】			
ギア	(gear E)	8	
キス	(kiss E)	5	
キャスティングボード	(casting vote E)	11・7	
△キャデー	(caddy E)	2	キャデイ [×] と書かない。
ギャバジン	(gaberdine E)	11	
キャバレー	(cabaret F > E)	7	キャバレエ [×] と書かない
ギャラ (ンティー)	(guara [ntee] E)	11	
キャンデー	(candy E)	2	キャンデイ [×] と書かない
【ク】			
クイズ	(quiz E)	14	
クイーン	(queen E)	14	
クーデター	(coup d'Etat F > E)	7	
クーポン	(coupon F > E)	7	
△クエーカー	(Quaker E)	14・7・16	
グラビア	(gravure E)	2・8	
クリスマスイブ	(Christmas-eve E)	10	
クリスマスツリー	(Christmas-tree E)	9 例外	

グループ	(group E)	7	
クレープ	(crêpe F > E)	7	
グレープジュース	(grape juice E)	7	
△クレジット	(credit E)	11	
クレヨン	(crayon E)		クレオンと書かない。
グローブ	(glove E)	10	
クロロホルム	(Chloroform D)	10	
【ケ】			
ケープ	(cape E)	7	
ケーブルカー	(cable-car E)	7	
ゲーム	(game E)	7	
【コ】			
コート	(coat E)	7	
コーヒー	(koffij N)	2	
コールタール	(coal-tar E)	7	
コーンビーフ	(corned-beef E)	7	
コピー	(copy E)	5	
コミッション	(commission E)	5	
コミュニケ	(communiqué F > E)	5	
コミュニケーション	(communication E)	5・7	
コミュニスト	(communist E)	5	
コメディ	(comedy E)	11	
コロシウム	(colosseum E)	17	
コンクール	(concours E)	7	
コント	(conte F)	3	
コンパクト	(compact E)	3	コムパクトと書かない。
コンパス	(kompas N)	3	コムパスと書かない。
コンビネーション	(combination E)	3・7	コムビネーションと書かない。
コンベヤー	(conveyer E)	10・8 例外 ・16	
△コンポジション	(composition E)	3	コムポジションと書かない。

コンマ	(comma E)	5 例外	
【サ】			
サービス	(service E)	10	
△サーブ	(serve E)	10	
サイホン	(siphon E)	10	
サクソフォーン	(saxophone E)	15・10	
サナトリウム	(Sanatorium D)	17	
サファイア	(sapphire E)	10・8	
サルベージ	(salvage E)	10	サルベージ [×] と書かない。
サンドイッチ	(sandwich E)	13	
【シ】			
ジアスターゼ	(Diastase D)	11・8	ジアスターゼ [×] と書かない。
シェード	(shade E)	12・7	
ジェットエンジン	(jet engine E)	12	
ジステンパー	(distemper E)	11・3・16	
ジストマ	(Distoma D)	11	
シック	(chic F)		シック [×] と書かない。
ジフテリア	(Diphtheria D)	11・8	
シャッター	(shutter E)	5 例外	
シャベル	(shovel E)	10	
シュークリーム	(chou à la crème F)	6	
ジュース	(juice E)	7	ジュース [×] と書かない。
△ジュース	(deuce E)	18	
ジュラルミン	(duralumin E)	18	
ショー	(show E)	7	ショウ [×] と書かない。
ショーウィンドー	(show-window E)	7・13・7	ショウウィンドウ [×] と書かない。
ジレンマ	(dilemma E)	11・5 例外	ジレンマ [×] と書かない。
△シンジケート	(syndicate E)	11	
△シンフォニー	(symphony E)	3・10	シムフォニー [×] と

△シンポジウム	(symposium E)	3・17	書かない。 シムポジウムと 書かない。
【ス】			
スイートホーム	(sweet home E)	13・7	
スイッチ	(switch E)	13	
△スイング	(swing E)	13	
スーツケース	(suit-case E)	7	
スエード	(suède F > E)	13	
スカッシ	(squash E)	14	
△スクイズ (プレー)	(squeeze [play] E)	14	
スクエア (ダンス)	(square [dance] E)	14・8	
スケール	(scale E)	7	
スコール	(squall E)	14	
スタジアム	(stadium E)	2・11・17	
スタジオ	(studio E)	2・11	
スチーム	(steam E)	11	
スチール	(still E)	11・2	
スチュワーデス	(stewardess E)	18	
ズック	(doek N)	注	× ズックと書かな い。
△スティック	(stick E)	11	(スポーツ用具)
ステージ	(stage E)	7・注	ステージと書か ない。
ステートメント	(statement E)	7	
ステンドグラス	(stained glass E)	2	× ステンドグラ スと書かない。
ステンレス	(stainless steel E)	2	ステンレスと 書かない。
ストーブ	(stove E)	7・10	
ストップ ウオッチ	(stop-watch E)	13	
スプーン	(spoon E)	7	
スペース	(space E)	7	
△スリークォーター	(three quarter E)	14	
スリーブ	(sleeve E)	10	
スリッパ	(slippers E)	16	
スレート	(slate E)	7	
ズロース	(drawers E)	9	

【セ】

セーター	(sweater E)	2・16
セーラー (服)	(sailor E)	7・16
ゼスチュア	(gesture E)	12
セツルメント	(settlement E)	5・9
ゼネラル ストライキ	(general strike E)	12・2
ゼネレーション	(generation E)	12・7
セパード	(shepherd E)	12
△セブン	(seven E)	10
ゼラチン	(gelatin E)	12・11
ゼリー	(jelly E)	12
セロハン	(cellophane E)	10
ゼントルマン	(gentleman E)	12・9

ゼリイ[×]と書かない。

【ソ】

ソーセージ	(sausage E)	注
ソファー	(sofa E)	10

ソーセーヂ[×]と書かない。

【タ】

△ダイビング	(diving E)	10
タイヤ	(tire E)	8 例外
ダイヤ	(dia [mond] E)	8 例外
	(dia [gram] E)	
ダイアル	(dial E)	8 例外
タキシード	(tuxedo E)	15 例外
タクシー	(taxi E)	15
△ダブル スチール	(double-steal E)	11
ダンディー	(dandy E)	

ダンデー[×]と書かない。

【チ】

チーム	(team E)	11
チケット	(ticket E)	11
チック	([cosme] tic E)	11

チップ	(tip E)	11	
チフス	(Typhus D)	11	
チューブ	(tube E)	18	
チンキ	(tinc [tuur] N)	11	
【ツ】			
ツーピース	(two piece E)	9 例外	
ツーリスト	(tourist E)	9 例外	
ツベルクリン	(Tuberkulin D)	9 例外	
ツンドラ	(tundra R > E)	9 例外	
【テ】			
ティー	(tea E)	11	
ディーゼル エンジン	(Diesel ^[ママ] engin E)	11	× ヂーゼル エン ヂンと書かな い。
ディスカッション	(discussion E)	11	
ディレッタント	(dilettante F > E)	11	
テキスト	(text E)	15 例外	
△デテール	(detail E)	2・7	
△デビスカップ	(Davis cup E)	10	
テレビジョン	(television E)	10	
【ト】			
ドア	(door E)	16	
トーキー	(talkie E)	7	
ドーナツ	(doughnut E)	7	
△ドッジボール	(dodge-ball E)	注	× ドッジボールと 書かない。
ドライバー	(driver E)	10・16	
ドライブ	(drive E)	10	
ドライヤー	(drier E)	8 例外・16	
トレーナー	(trainer E)	7・16	
トロフィー	(trophy E)	10	
【ナ】			

△ナツメグ	(nutmeg E)	9 例外	
ナトリウム	(Natrium D)	17	
【ニ】			
ニュース バリュウ	(news value E)	2・10	
ニュー フェース	(new face E)	10	ニューフェイス [×] と書かない。
【ネ】			
ネーブル	(navel- [orange] E)	7・10	
ネーム バリュウ	(name value E)	7・10	
ネックレス	(necklace E)	7	
【ノ】			
ノスタルジア	(nostalgia E)	注 8	ノスタルヂア [×] と書かない。
【ハ】			
パーティー	(party E)	11	
△バイアス	(bias [tape] E)	8	
バイオリン	(violin E)	10	
ハイアー	(hire E)	8 例外	
バター	(butter E)	16	
バッター	(batter E)	5 例外・16	
バッテリー	(battery E)	5 例外	
バニラ	(vanilla E)	10	
バラエティー	(variety E)	10	
パラフィン	(paraffin E)	10	
バリエーション	(variation E)	10・7	
バリュウ	(value E)	10	
バルブ	(valve E)	10	
△バレーボール	(volley-ball E)	10	
ハンディキャップ	(handicap E)	11	
ハンマ	(hammer E)	5 例外・16	ハンマー [×] と書かない。
【ヒ】			
ピアノ	(piano E)	8	

ビーナス	(Venus E)	10
ビオラ	(viola E)	10
ビタミン	(Vitamin D)	10
ビニール	(vinyl E)	10
ヒューズ	(fuse E)	19
ビル (ディング)	(buil [ding] E)	11
ヒレ (肉)	(filet F > E)	10

【フ】

△ファースト	(first E)	10
ファイト	(fight E)	10
△ファイブ	(five E)	10
ファイル	(file E)	10
△ファインダー	(finder E)	10・16
ファインプレー	(fine-play E)	10・7
△ファウル	(foul E)	10
ファシズム	(fascism E)	10
ファッション	ショー (fashion show E)	10・7
ファン	(fan E)	10
フィアンセ	(fiancé F > E)	10・8
フィート	(feet E)	10
△フィールド	(field E)	10
△フィギュア	(figure E)	10
フィクション	(fiction E)	10
フィナーレ	(finale I)	10
△フィラメント	(filament E)	10
△フィルター	(filter E)	10・16
フィルム	(film E)	10
フェアプレー	(fair play E)	10・8・7
フェミニスト	(feminist E)	10
フェルト	(felt E)	10
△フェンシング	(fencing E)	10
フォーク	(fork E)	10
△フォーク	ダンス (folk-dance E)	10・7
△フォース	アウト (force out E)	10
フォーム	(form E)	10
△フォワード	(forward E)	10
プディング	(pudding E)	11

プラスチック	(plastic E)	11	
プラットホーム	(platform E)	10	
プレーン ソーダ	(plain soda E)	7	
ブレイン トラスト	(brain trust E)	7・9	
プロデューサー	(producer E)	18 例外・16	
プロフィール	(profile E)	10	
【へ】			
ヘアピン	(hair-pin E)	8	
ペイ	(pay E)	7 例外	
ペイント	(paint E)	7 例外	
ベーカリー	(bakery E)	7	
ベーコン	(bacon E)	7	
ページ	(page E)	7・注	ページ [×] と書かない。
△ページェント	(pageant E)	12	
ベールラム	(bay-rum E)	7	
△ベスト	(vest E)	10	
ベニヤ	(veneer F > E)	8 例外	
△ヘビー (級)	(heavy-weight E)	10	
ベランダ	(veranda E)	10	
ヘリウム	(Helium D)	17	
△ベルベット	(velvet E)	10	
ベルモット	(vermouth ^[マツ])	10	
△ベロア	(velours E)	10	
ベンチレーター	(ventilator E)	10・11・7 ・16	
△ペンテックス	(paintex E)	7 例外	
【ホ】			
ボイル	(voile E)	10	
△ボーキサイト	(bauxite E)	15 例外	
ポートレート	(portrait E)	7	
△ホーム スチール	(home steal E)	7・11	
△ボクシング	(boxing E)	15	
ボディー	(body E)	11	ボデイ [×] ・ボデー [×] と書かない。
ボリューム	(volume F)	10	

ボルト	(volt E)	10	
ホルマリン	(Formalin D)	10	
【マ】			
マイクロホン	(microphone E)	10	
マキシマム	(maximum E)	15 例外	
マスコミュニケーション	(mass communication E)	5・7	
マフラー	(muffler E)	16	
【ミ】			
ミキサー	(mixer E)	15	
ミルクセーキ	(milk-shake E)	12・7・2	
【メ】			
メーカー	(maker E)	7・16	
メイキャップ	(make-up E)	2	
メーデー	(May Day E)	7	
メイド	(maid E)	7	
△メイン イベント	(main event E)	7・2・10	
△メイン スタンド	(main stand E)	7	
メガホン	(megaphone E)	10	
メッセージ	(message E)	注	メッ [×] セー [×] ヂと書かない。
【モ】			
モダン	(modern E)		モダ [×] ーンと書かない。
△モチーフ	(motif F > E)	11	
△モラトリアム	(moratorium E)	17 例外	
【ユ】			
ユニホーム	(uniform E)	10	
【ヨ】			

ヨードホルム	(Jodoform D)	10	
【ラ】			
ライター	(lighter E)	16	
△ライト ウイング	(right wing E)	13	
ライバル	(rival E)	10	
ラジウム	(Radium D)	11・17	
△ラジエター	(radiator E)	2・11・7 ・16	
ラジオ	(radio E)	2・11	ラヂオと書かない。
△ラスト ヘビー	(last heavy E)	10	
ラブレター	(love letter E)	10・16	
ランデブー	(rendez-vous F)	10	
【リ】			
リノリウム	(linoleum E)	17	
△リベット	(rivet E)	10	
リューマチ (ス)	(rheumati [sm] E)	11	リョーマチ・ロイマチスと書かない。
リュックサック	(Rucksack D)	2	
【ル】			
ルクス	(Lux D)		ルックスと書かない。
【レ】			
レイ	(lei E)	7 例外	
△レイアウト	(layout E)	7 例外	
レート	(rate E)	7	
レーヨン	(rayon F > E)	7	レイヨンと書かない。
レインコート	(raincoat E)	7	レインコートと書かない。
△レシーバー	(receiver E)	10	
レディーメード	(ready-made E)	11・7	

レビュウ	(revue F > E)	19	
△レフェリー	(referee E)	10	
レベル	(level E)	10	
【ロ】			
ロマンス	(romance E)		ローマ [×] ンスと書かない。
ロマンチック	(romantic E)	11	
ロマンパース	(rompers E)	16	
【ワ】			
ワイヤ	(wire E)	8 例外	